



皇太子殿下・同妃殿下
15年ぶり富山県へ



▲開会式ではお言葉を述べられた



▶少女選手はうれしさいっぱい(距離競技会場で)



▲スキーセンターを出られて

スキーセンター2階で国体の概要についてご説明を▶

選手とご歓談も

皇太子ご夫妻「おおやま国体」へ



コース横で大回転をご覧に

みんなの県政
1976・3・もくじ

皇太子殿下・同妃殿下15年ぶり富山県へ	1
「おおやま国体」開幕	6
物価と家計簿シリーズNo.33	16
トピックス1月1日～31日	18
県政バス—ふるさとバスこども発車—	20



機械工場でスクリー製作を熱心にご覧になる▶



▲お泊所につくられた雪の雷鳥



◀ 雷鳥やカモシカなどの天然記念物に精通しておられる殿下は、自然保護について鋭いご質問を



2月14日

開会式で激励のお言葉

午前中は、立山町西芦原の中越合金鋳工富山工場をご視察。

開会式場横の立山国際ホテルで昼食をとられたあと、国体開会式へ。全国から集まった選手に、殿下は「持てる力を十分発揮し、生涯のよい思い出となるように」とお言葉を述べられた。

ホテルでは、山小屋経営者や県のナチュラリスト（自然解説員）ら7人の「立山通」と「立山の自然について」をテーマに懇談会をもたれた。

2月13日



富山駅頭にて

歓迎の人波にごあいさつ

皇太子ご夫妻は、14日開会の「おおやま国体」ご出席と県内事情ご視察のため、13日午後国鉄富山駅に降り立たれた。15年ぶりのご来県とあって、駅頭や県庁周辺につめかけた歓迎の人波は約1万人。手を振って応えられるご夫妻に歓声があがった。

この日は、県庁で中田知事から県政概況をお聞きになり、富山市内のお泊所では、県内在住の留学生や、技術研修員として学んでいる県出身海外移住者の子弟とご懇談された。



◀ 県庁ご訪問



南米を訪問されたことのある殿下からは親しくご質問が（ブラジル、アルゼンチン、ペルーの留学生らと）

皇室のご来県

明治11年	明治天皇北陸御巡幸
明治42年	皇太子嘉仁親王殿下(のち大正天皇)行啓
大正13年	皇太子裕仁摂政官(今上陛下)特別大演習行啓
昭和22年	天皇陛下御巡視に行幸
昭和33年	天皇・皇后両陛下第13回富山国体に行幸啓
昭和36年	皇太子ご夫妻第20回全日本産業安全大会に行啓
昭和44年	天皇・皇后両陛下第20回全国植樹祭大会に行幸啓
昭和46年	常陸宮ご夫妻ご来県
昭和47年	秩父宮妃第23回結核予防全国大会にご来県 高松宮にはたびたびご来県

2月15日

精力的に ご観覧、ご視察

ご夫妻にとってこの日は、大忙しの1日だった。雪の上で「おおよま国体」の各競技をご覧になり午後からは、大山町役場、県立流杉老人ホームをご訪問。民芸品製作ご覧(大山町)、入所者のご慰問(流杉老人ホーム)のほか、県内の青少年とお話し合いになるなど、県民との接触を深められた。



距離競技会場で

国体会場では男子大回転、複合飛躍、距離の3競技をご覧になった。次々にゴールインする選手に拍手を送られ、距離競技会場では選手控所に立ち寄って、各県の女子選手13人と親しくお話しになられた。



大山町役場ではワラ工品、手まりづくり、シイタケ栽培の実演をご覧になる

2月16日

県民に感銘残し

4日間にわたり、国体会場をはじめ県内各地をお回りになったご夫妻は、16日富山駅からご帰京された。延べ約7万5千人の県民が歓迎した15年ぶりのご来県は、県民に深い感銘を残した。



お見送りの県民に応えられる



富山市体育館で、スポーツクラブの婦人たちと



青少年の代表と楽しく



流杉老人ホームでは、まず特別養護のお年寄りを見舞われた。また、お年寄りの元気一杯の「おわら」と「こきりこ」の踊り、生花、和裁などのクラブ活動をご覧になった。

“おおやま国体”開幕

2月14日、与四兵衛平に開会を告げるファンファーレとともに、第31回国民体育大会冬季大会スキー競技会(おおやま国体)が開幕した。

貴賓席には皇太子ご夫妻のご臨場を仰ぎ、8,200人の観衆がつめかけた中を、41都道府県から国体史上最高、1,926人の選手団が入場行進を行い、しんがりを受けて富山県選手団が入場した。

県内の高校生による「君が代」「若い力」「富山県民の歌」の吹奏と合唱。国旗、大会旗、各県旗の掲揚。中田知事、大山町長の歓迎のあいさつ、皇太子殿下からの励ましのお言葉のあと、高尾忠義選手の若々しい宣誓が“立山に美と力と友情と”のテーマを会場いっばいに響き渡らせた。

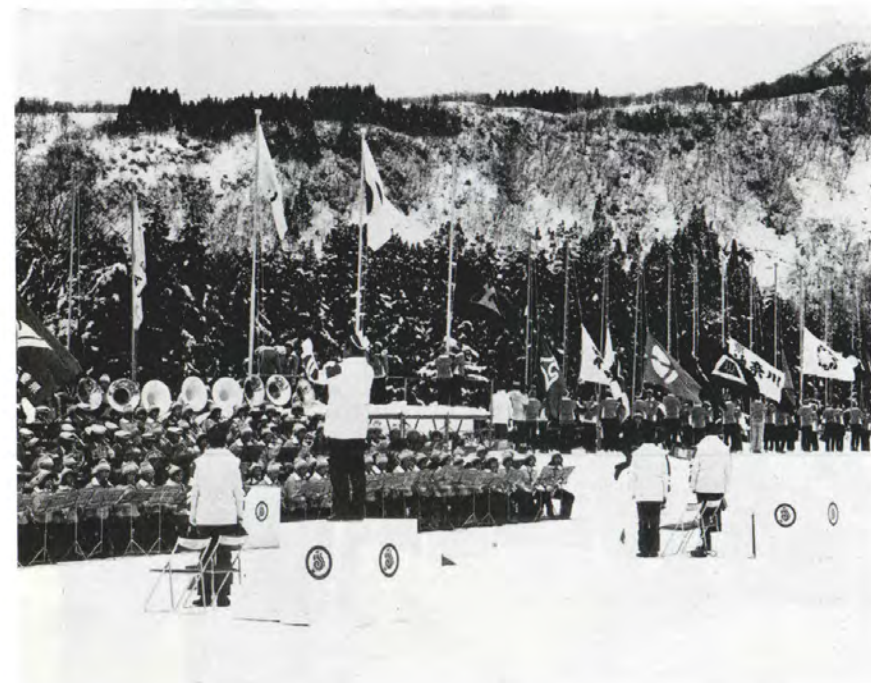


▲あいさつする中田知事

▼大歓声の中を富山県選手団の入場



▲与四平衛平に集合した史上最高の選手団



◀県内の高校生の吹奏と合唱の中を各県旗の掲揚

▶拍手を送られる皇太子ご夫妻の前を次々と滑り降りる(大回転)



熱戦の火ふた切る

2月15日

競技初日の15日、極楽坂、栗巣野の両会場で、男子大回転、複合飛躍、距離女子5*の各競技が一斉に行われた。

あいにくの雨で北陸特有のベタ雪になり、競技本部は早朝からコース整備に出動。

しかし日曜日とあってか観覧につめかけた県民の数は8,300人にふくれあがり、皇太子ご夫妻も雪上車で大回転コースへ向かわれた。

この日、本県選手は6種目に12人が出場、早くも3人が入賞。複合競技教員男子2部の篠村幸夫選手が、ジャンプで2位以下を大きく引き離して1位に立つ活躍をみせた。



◀栗巣野会場では女子の距離5*。競技が行われた

▼競技運営の影の力となった自衛隊からの支援団



◀観衆に向って舞い降りる瞬間「篠村先生がんばれ」の横断幕も

▲「スキ一の華」ジャンプの豪快な飛行(複合飛躍)

大健闘した県選手陣

総合9位の原動力に



◀ 県勢躍進のしんがりを受け純飛躍教員男子二部優勝の最上満選手



▶ 大回転教員女子二位の菅生根子選手



▲ 県選手団62名の入場行進

富山県選手入賞一覧

順位	種目	種別	選手氏名
1位	大回転	教員1部	山中 茂
	大回転	教員2部	中村 昭男
	純飛躍	教員2部	最上 満
	複合	教員2部	篠村 幸夫
2位	大回転	少年男子	高尾 昭寿
	15 km	教員2部	吉越 明
	大回転	教員女子	菅 生根子
3位	15 km	教員1部	池村 直人
4位	大回転	教員4部	尾原 咲夫
5位	大回転	教員3部	池田 実
6位	大回転	成男2部	佐伯 松雄
	15 km	成男2部	島田 健治
	5 km	教員女子	岩瀬 真知子
7位	15 km	成男3部	山田 友一
9位	15 km	教員4部	天池 信一
	リレー	成年男子	島田健治/池村直人/水戸康博/吉越明/山田友一
10位	15 km	成男3部	横井 敏夫
	5 km	成女1部	松田 春代
	リレー	女子	木下百合江/松田春代 藤井美智代/高尾由香里



▲ 昨年の富良野国体(教員1部)につづき2連勝を成し遂げた中村昭夫選手(大回転教員男子2部)

県選手中まっ先に優勝を決め、県勢躍進の口火をきった▶ 篠村幸夫選手(複合教員男子2部)

◀ 実力を発揮し優勝を決めた山中茂選手(大回転教員男子1部)





▲ 移動郵便局も出勤



記録速報板に集まる観衆▶



▲ 大好評だった国体メニュー（選手団宿舎）

競技の周辺



大回転の計時にも熱がこもる▶



◀ 女子大回転

富山勢、この日10人入賞

16日は、男女大回転、男子距離15*が行われた。

極楽坂、粟巣野両会場に終日雨が降り、午前中は濃霧という最悪のコンディションだったが、県選手の活躍はめざましかった。まず篠村選手が初優勝をもたらし、2位になった菅生根子（大回転教員女子）、吉越明（距離15*。教員男子2部）両選手など、10人が入賞した。



初優勝をもたらした篠村幸夫選手の力走



▲リレー競技一斉にスタート



▲2連勝をはたし、生徒にかこまれる中村昭男選手
▼「がんばれ最上先生」

県選手団は、最終日も各種目で活躍した。大回転の成年男子教員一部で山中茂選手が初優勝、同二部で中村昭雄選手が二年連続の優勝をとげた。また、純飛躍成年男子教員二部の最上満選手が富山県勢四つ目の優勝をもたらした。リレーも成年男女とも入賞し、結局、全競技で個人入賞17人、男女総合成績9位となり、当初の目標を達成した。

北海道、男女総合
女子総合とも手中に

8	7	6	5	4	3	2	1	順位
4	5	6	7	8	9	13	16	得点
東京 都	岐 阜 県	山 形 県	新 潟 県	秋 田 県	長 野 県	青 森 県	北 海 道	都道府県名

男女総合成績

8	7	6	5	4	3	2	1	順位
4	5	6	7	8	10	10.5	14.5	得点
東京 都	埼 玉 県	山 形 県	岐 阜 県	秋 田 県	長 野 県	青 森 県	北 海 道	都道府県名

女子総合成績



▲北海道男女総合28連勝をはたしブロンズ像を手中に



▲選手を追うジャンプ審判員

